

札幌社保協 FAXニュース

2013年12月20日(金)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者医療110番
は12月26日(木)

市交通から率先して半額割引実施を

精神障害者への交通費助成を要望

12/18「札幌市の障害者交通費助成削減に反対する連絡会」は市営地下鉄・市電の運賃割引などを求めて25人が参加し、上田市長へ直接要望しました。

後藤昌男連絡会会長が①市として、精神障害者の市営地下鉄及び市電の運賃半額割引を実施してください、②JRバス、中央バスなどと、私どもの懇談の場を設けてください、③精神障害者の運賃割引が全国的な制度となるよう、国に働きかけてください。④バス事業者やJRに、割引の実施を求めて、再度要請してください、と4項目の要望書を市長に渡しました。

出席者からは「所得が低いため交通費の負担が重い」「知的・身体障害者と同一の割引にしてほしい」「出かけられるようにして社会参加を増やしてほしい」など一言ずつ実情からの要望をしました。同席した精神科医師も「精神障害者は生活していく上で負担が多いが、他の障害と同一待遇の実感がない」、家族会会長からは「運送約款が変わっても事業者が実施しなければ変わらない、市がまず取り組んでほしい」と発言がありました。

上田市長は「みなさんから直接聞くのは大事なこと。民間との関係もありどう調整するか検討させてほしい。福祉、まちの活性化、文化の水準等色々な点から市民の合意を得るように真剣に考えていきたい」と回答しました。



清田区・東区・西区 SOS 何でも 相談会開催

12/8清田区SOS (写真左上)

初の相談会を真栄地域の会館で開催。18人から生活福祉、医療介護、法律等24件の相談がありました。

●2007年にリストラされ以降無職。職安行ったが中卒では事実上難しい。親との同居も収入が減って難しくなっており生活保護の相談。●4月に夫が倒れ入院し介護を要する状態に。自分も病院通いで医療費が多額にかかる。今後の生活が不安、等の相談がありました。

弁護士・司法書士をはじめ、生活と健康を守る会、新婦人、年金者組合、民商、勤医協在宅等39人のスタッフが協力しました。

12/10東区SOS (写真左中)

今回は夜間の相談会を開催。生活・医療・年金等5件の相談がありました。●68才男性、一人暮らし。年金収入が、ひと月107,806円しかない。年金が減らされた。介護保険料が増え生活がどんどん苦しくなる。介護保険料が高すぎる。社会保障制度がどんどん改悪されるので腹が立って仕方がない、と怒りの声。司法書士、守る会、新婦人、年金者組合、勤医協等から24人の相談員とスタッフが参加・協力しました。

12/19SOS西区 (写真左下)

西区民センターの会場には19人・33件の相談がありました。弁護士・司法書士、守る会、新婦人、勤医協等から相談員とスタッフ30人余が協力しました。●低年金のための生活相談、●年金6万円で家賃3.9万円、貯金が20万だけ残っている～生活保護の申請等の相談がありました。

